

## 評価項目表

項目	項番	提案書記載事項	評価基準	配点
1. システム基本方針	1.1.	目的及び効果について記述すること。	○システムの構築目的を理解し、システムのあるべき姿、重視すべきポイントや効果が記述されているか。	10
	1.2.	構築及び保守方針目的及び効果について記述すること。	○効率的で実現性の高い、システムの構築及び保守方針が具体的に記述されているか。	10
	1.3.	業務の遂行体制目的及び効果について記述すること。	○作業量、作業工程、作業項目が具体的に記述されているか。 ○構築体制を具体的に示し、確実に業務を遂行できる根拠が記述されているか。	20
2. 機能要件	2.1.	住民情報管理(機能要件1.1・2.1)について、要件に基づき提案内容を記述すること。	○要件を理解し、具体的かつ実現性の高い方法で図解等により、機能内容が分かりやすく記述されているか。 ○特に地図情報の検索及び出力機能について、分かりやすく記述されているか。	30
	2.2.	作業車両管理(機能要件1.3・2.3)について、要件に基づき提案内容を記述すること。	○要件を理解し、具体的かつ実現性の高い方法で図解等により、機能内容が分かりやすく記述されているか。	10
	2.3.	賦課計算(機能要件1.4・2.4)について、要件に基づき提案内容を記述すること。	○要件を理解し、具体的かつ実現性の高い方法で図解等により、機能内容が分かりやすく記述されているか。	10
	2.4.	収納管理(機能要件1.5・2.5)について、要件に基づき提案内容を記述すること。	○要件を理解し、具体的かつ実現性の高い方法で図解等により、機能内容が分かりやすく記述されているか。	20
	2.5.	滞納整理(機能要件1.6・2.6)について、要件に基づき提案内容を記述すること。	○要件を理解し、具体的かつ実現性の高い方法で図解等により、機能内容が分かりやすく記述されているか。 ○特に不納欠損等、自治体が実施する徴収事務に対応しているか。	30
	2.6.	項番2.1.~2.5.に特記した項目以外の機能について、要件に基づき提案内容を記述すること。	○要件を理解し、具体的かつ実現性の高い方法で図解等により、機能内容が分かりやすく記述されているか。	30

評価項目表

項目	項番	提案書記載事項	評価基準	配点
3. 非機能要件	3.1.	操作性・視認性について記述すること。	○図解等により以下の条件を満たしたインターフェースが分かりやすく記述されているか。 ●委託業者及び本市職員にとってユーザビリティの高いインターフェース ●利用目的に応じてカスタマイズ可能なインターフェース	30
	3.2	し尿収集部門と手数料徴収部門の連携を高める機能等について記述すること。	○し尿収集部門と手数料徴収部門のシステムを統合することによるメリットについて、具体的かつ実現性の高い方法で図解等により分かりやすく記述されているか。	30
	3.3.	今後見込まれるDX化の推進に対して、将来的な拡張性について記述すること。	○DX化の推進に対する、具体的な対応方法が記述されているか。 ○今後想定される機能拡張について、記述されているか。	10
	3.4.	十分なセキュリティを担保する手法について記述すること。	○セキュリティを十分に担保する仕組みであることが、図解等を用いてわかりやすく記述されているか。	10
4. 構築要件	4.1.	システム基本方針を踏まえて、提案する構築方針の有効性を記述すること。	○オープンで標準的な技術を利用していることが分かるように記述されているか。 ○運用保守や運用実施に係る経費が最小限に抑えられる構築方針と認められる記述がされているか。	10
	4.2.	プロジェクトの管理・運営について、考え方や管理方法を記述すること。	○プロジェクト管理・運営についての考え方が具体的に明記されており、提案の有効性が論理的に記述されているか。	10
	4.3.	プロジェクトの作業体制について、構成要員の役割、責任を記述すること。	○プロジェクトの構成要員の役割、責任が具体的に記述されているか。	10
	4.4.	構築業務を確実に遂行する為の計画及び工程、品質確保の為のテスト手法を記述すること。	○構築業務の遂行計画書を作成するための重要なポイントが具体的に記述されているか。 ○品質確保のための効果的かつ効率的なテスト手法について記述されているか。	10
	4.5.	システム構築における会議体運営について、考え方や役割分担及び、本市にとって有益な提案があれば記述すること。	○システム構築における会議体運営について、考え方や役割分担・提案内容が具体的に記述されているか。	10
5. 運用・保守要件	5.1.	運用・保守工程での、作業項目や実現内容を具体的に記述すること。	○システムに求められる要件を理解し、運用・保守の作業項目、工程及び本市との役割分担が具体的に示されており、かつ、本市の負担ができるだけ少ないと認められる記述がされているか。 ○システム利用場所が委託業者及び本市の2か所となることをふまえたサポート体制が構築されていることが論理的に分かる記述がされているか。	30
6. 研修	6.1.	研修について提案内容を記述すること。	○研修の実施方針、進め方等を具体的に明記し、システム導入による業務体制が円滑に確立できる記述がされているか。	10
7. 納入成果物	7.1.	構築及び保守における納入成果物について、考え方や内容を具体的に記述すること。	○納入成果物の種類や定義内容が、論理的に記述されているか。 ○工程毎の具体的な成果物の作成プロセスについて、記述されているか。	10
8. その他追加提案	8.1.	本市が定める仕様を超え、本市にとって有益な提案があれば記述すること。	○他者には無い独自の提案内容が示されており、またその提案内容が適切かつ効果的であると認められる記述がされているか。	30
9. 実績	9.1.	本項目については「様式3 システム構築・保守業務 実績表」に記述すること。	○し尿収集及び手数料徴収業務に関し、システム構築及び運用保守実績があるか。 ない場合は、類似業務の実績があるか。	20
技術点				400
様式7-1 価格点	100点×(1-提案価格)／契約上限金額)			100
様式7-2 価格点	50点×(最低提案価格／提案価格)			50
価格点				150
合計				550